

ゆるかの講演会

「精神障害のある親と暮らす子どもたち」 part 2

講師：夏苺 ^{なつかり} 郁子さん ^{いくこ}（精神科医「やきつべの^{みち}怪診療所」）

著書は「心が病む母が残してくれたもの～精神科医の回復への道のり」。

静岡県焼津市で診療所を開所。母が統合失調症を発症し、苦悩の毎日を送る。両親の離婚後、父親のもとに残った夏苺さんは、母親と会うことを約10年間拒否し続けたが、友人の仲介で再会。

本を出した6年前から講演活動をしている。

日 時：2018年12月23日(日) 13:30～16:00

場 所：公社会館 3階会議室（久留米市中央町21-16）

★JR 久留米駅より徒歩 6 分、西鉄久留米駅より徒歩 18 分。

★バスで来られる場合、西鉄バス「市役所前」にて下車してください。

★車でお越しの方は市役所北の市民駐車場をご利用ください。（無料）

参加費：無料 ★申し込みはいりません。直接会場におこしてください。

★手話通訳・要約筆記・託児を希望される方は、12月15日（土）までにご連絡ください。

～精神障害のある親と暮らすということ～

子育て中の親が精神疾患を持っているとき、障害者福祉での支援、子育て支援、医療だけでは、解決しない問題があります。「学校や保育園が親の障害を理解してくれない」、「医療が、子育てに配慮した処方やアドバイスをしてくれない」などの親の不満があります。その一方で、子ども自身に親の病気や障害のことをだれも説明してくれない、家で起きていることをどう他の人に話せばいいのかわからない、親の病状が悪い時、介護者の役割を子ども自身がとっていることに誰も気づいてない、などの現状があります。

障害があって子育てをする親への支援も必要ですし、子ども自身への支援も必要です。

まず、実態を子ども（だった人）から聞くことが必要だと思い、今回の企画をすることにしました。

お問い合わせ先

NPO 法人くるめ出逢いの会



オープンスペースゆるか

住所：久留米市青峰 2 丁目 5-1
近本アパート 202 号室

TEL/FAX: 0942-27-6778

E-mail: deainokai@yahoo.co.jp

水曜日～土曜日 10:00～15:00

公社会館 MAP（下図）

